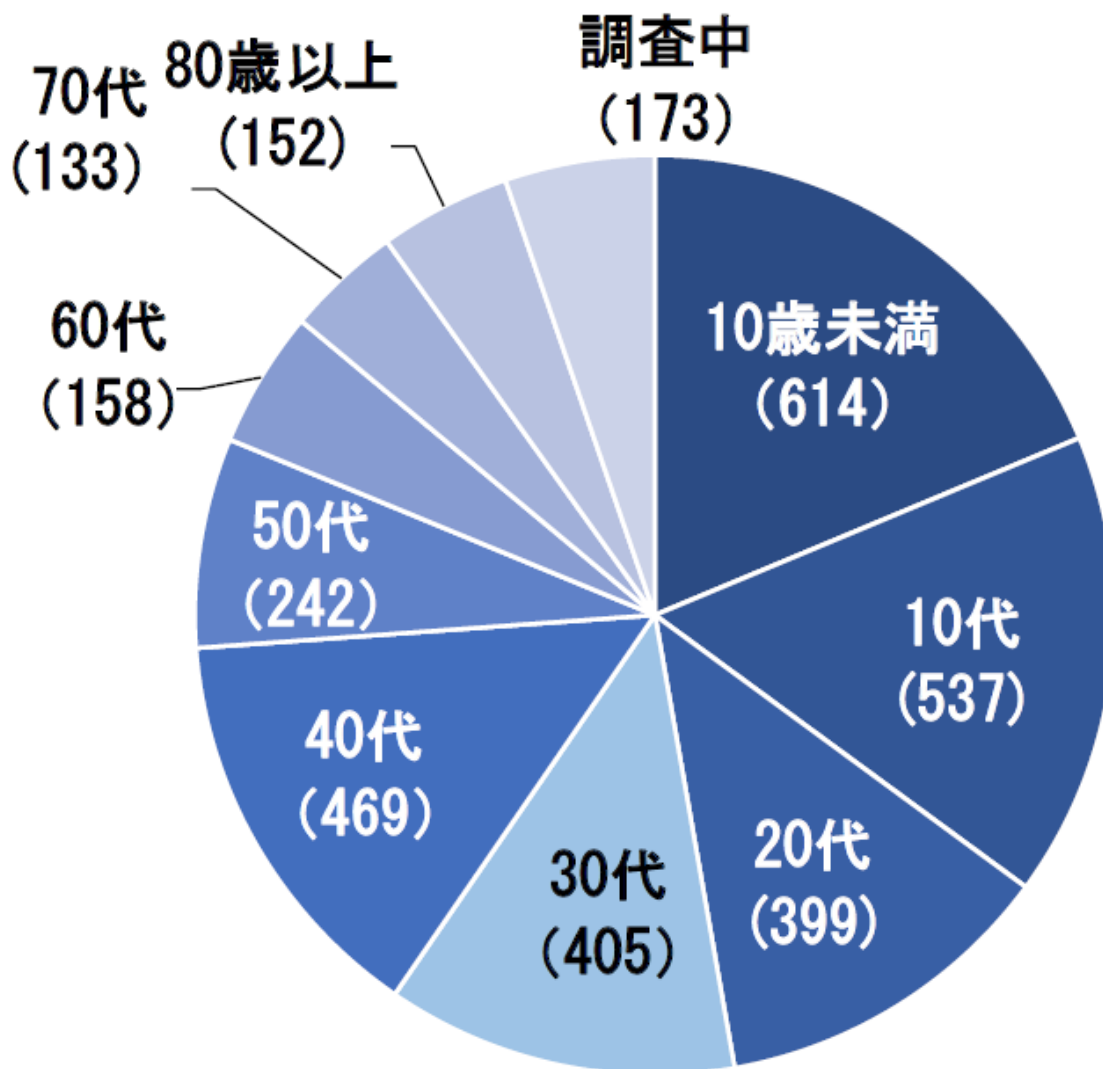


1月26日（水） 知事会見

**「まん延防止等重点措置」
の適用に伴う長野県の取組方針**

直近1週間の新規陽性者の状況（年代別）

1/25（火）20:00現在



65歳以上343例(10.5%)

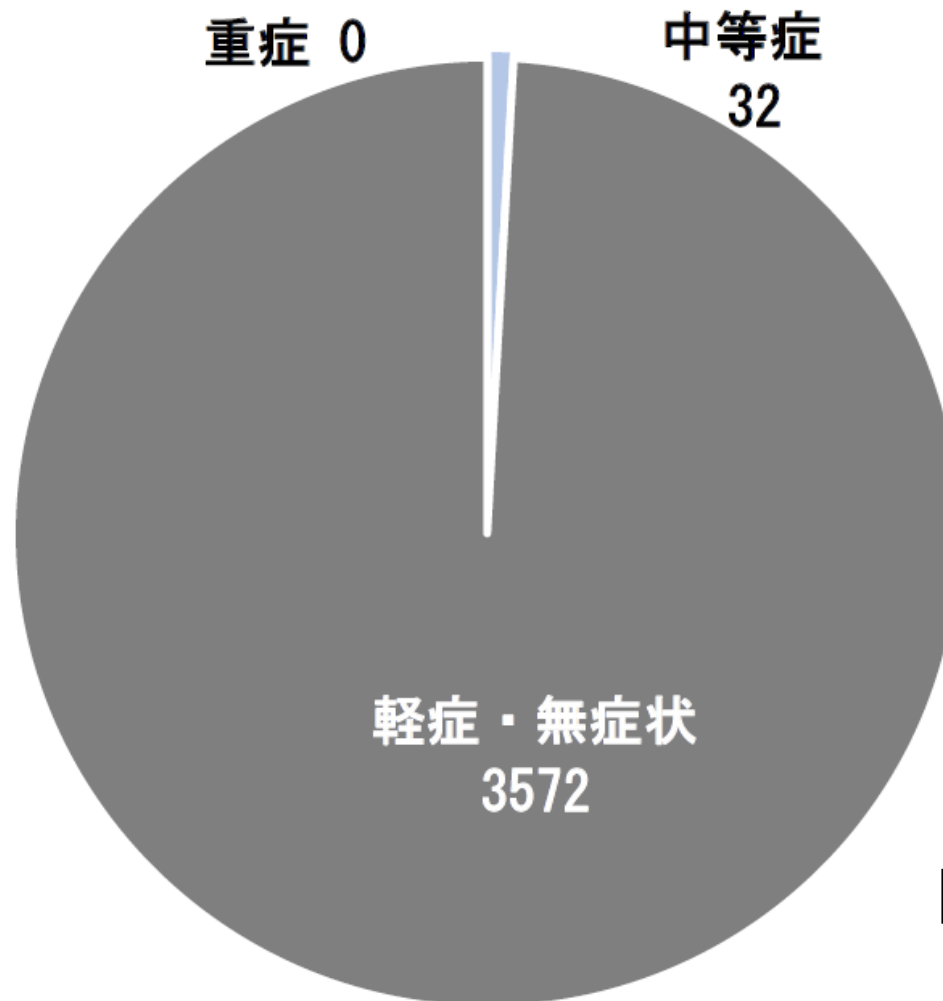
N = 3282

* 1/20～1/26の新規陽性者数
(公表日ベース)

療養者の状況（療養者の重症度）

1/25（火） 20:00現在

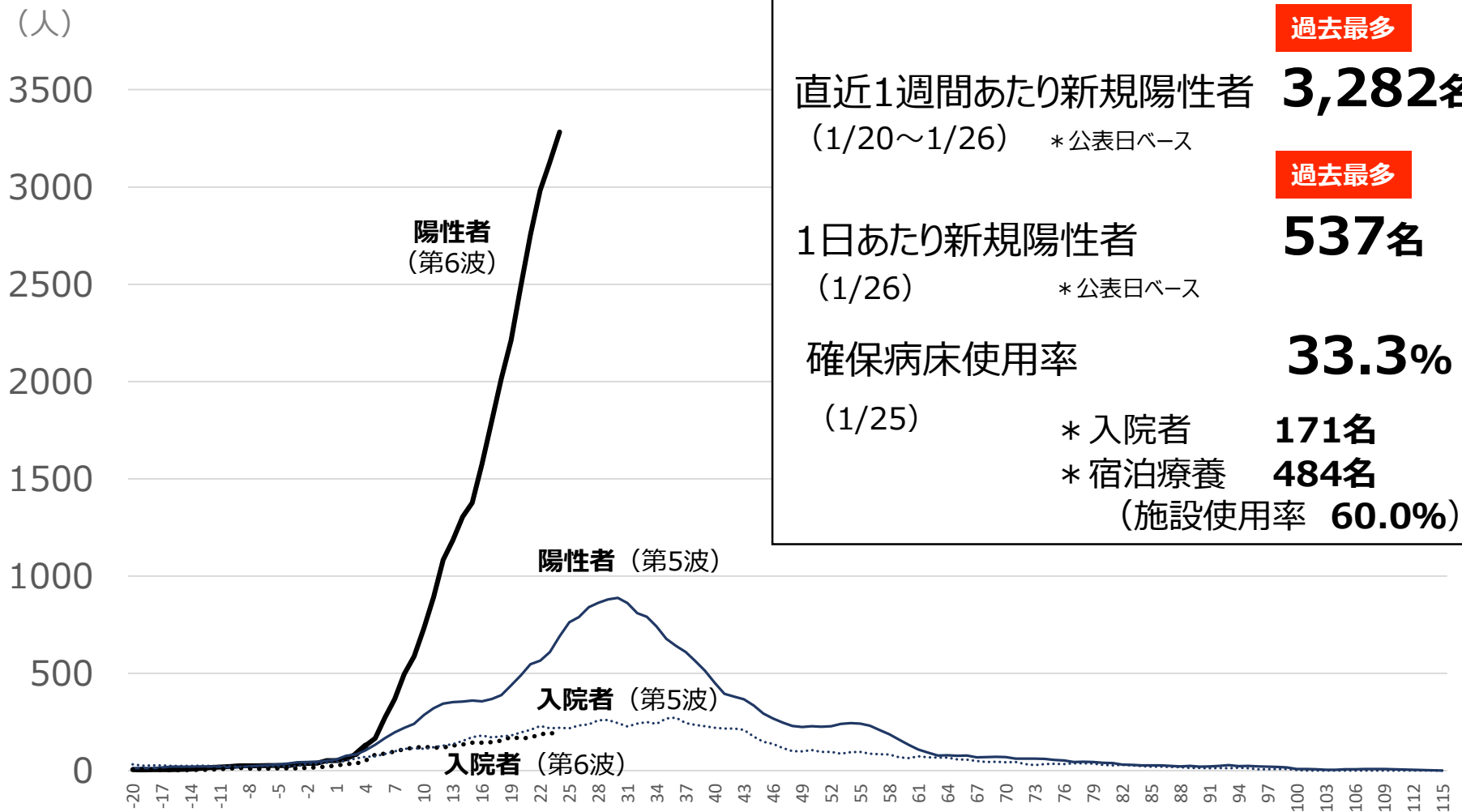
＜療養者の重症度＞



N = 3,604

直近1週間の新規陽性者数・入院者数の推移

1/26 (水) 現在



直近1週間あたり新規陽性者 (1/20~1/26) *公表日ベース	過去最多 3,282名
1日あたり新規陽性者 (1/26) *公表日ベース	過去最多 537名
確保病床使用率 (1/25)	33.3%
* 入院者	171名
* 宿泊療養	484名
(施設使用率 60.0%)	

— 陽性者：第6波 — 陽性者：第5波 入院者：第6波 入院者：第5波

(注) 1週間の新規陽性者数が50人以上となった日を起点 (ゼロ日) としてグラフ化
 第6波：2022年1月1日、第5波：2021年7月24日

感染急拡大に歯止めをかけ、**県民の命を守る**とともに、

社会機能を維持し、**県民の暮らしと産業を守る**



全ての圏域の感染警戒レベルを6とし、

特措法に基づく

まん延防止等重点措置

を講じます

期間

1/27 (木) ➡ 2/20 (日)

オミクロン株の特徴に関する知見

※厚労省新型コロナ感染症対策アドバイザリーボード資料より抜粋

感染性 伝播性

デルタ株に比べ、世代時間（※1）が約2日（デルタ株は約5日）に短縮、倍加時間（※2）と潜伏期間も短縮し、感染後の再感染リスクや二次感染リスクが高く、感染拡大の速度も非常に速いことが確認されている。

重症度

オミクロン株による感染はデルタ株に比べて相対的に入院のリスク、重症化のリスクが低い可能性が示唆されている。

ワクチン 効果

初回免疫によるオミクロン株感染に対する発症予防効果は著しく低下するが、重症化予防効果は一定程度保たれている。また、ブースター接種によるオミクロン株感染の感染予防効果や入院予防効果が改善することも報告されている。

※1 ある患者が感染してから二次感染を起こすまでの時間

※2 累積感染者数が倍増するまでに要する時間

視点1：「対策を重点化」

- ① 一律の外出自粛でなく感染リスクが高い場所や行動の回避を要請
- ② 保健所、健康観察センターの体制強化と業務重点化（入院・治療が必要な方を見逃さない。）

など

視点2：「県民の総力で対応」

- ① 職場や学校、家庭も含めた幅広い県民に感染対策への協力を要請
(健康観察アプリ活用や保健所の調査への協力、在宅勤務やオンライン授業の推進など)
- ② 多くの医療機関の協力のもと、新規陽性者への初期評価を行うとともに自宅療養者に対する電話診療等を実施
- ③ 社会機能を支える事業者等が濃厚接触者の待機期間等を判断

など

視点3：「基礎的社会機能の維持を重視」

- ① 生活・経済の安定確保に不可欠な事業者等に必要業務継続を要請
- ② 子どもの居場所はできるだけ維持できるよう依頼
- ③ 高齢者施設等への検査費を補助

など

視点4：「ワクチンの追加接種を加速化」

- ① 2月を「ワクチン接種推進月間」に位置付け。2回目接種日から6か月経過した希望者への追加接種を推進
- ② 県の大規模接種会場を設置
- ③ ワクチン接種支援チームにより市町村を支援

など

視点5：「経済活動をできるだけ維持」

- ① 「信州の安心なお店」認証店の利用を推奨
- ② 県民家族宿泊割等の継続
- ③ 国の基本的対処方針を踏まえつつ、飲食店の事業継続に最大限配慮

など

主な対策

【1 県民・事業者への要請等】

- ① 混雑した場所や感染リスクが高い場所への外出・移動の自粛を要請（特措法第24条第9項）
- ② 改めて原点に立ち返り、基本的な感染防止対策を徹底するよう要請
- ③ 職場、学校等における対策徹底と家庭における対応等についての協力を要請
- ④ 大規模な集客施設に対し、まん延防止のために必要な措置を講じるよう要請（法第31条の6第1項）
- ⑤ 飲食店等に係る要請
- ⑥ 不要不急の県外との往来は、控えるよう要請（法第24条第9項）

主な対策

【 2 オミクロン株の特徴に対応した医療・検査体制の充実】

- ① 県内の医療機関のご協力による初期評価の実施
- ② 県内の医療機関のご協力による自宅療養を支える電話診療等の実施
- ③ 療養者数増加に対応するための健康観察センターの体制強化と機器類の整備
- ④ 宿泊療養施設の増設
- ⑤ 治療に必要な医薬品等の確保
- ⑥ 検査実施事業者（薬局等）の拡大
- ⑦ 相談窓口における丁寧な相談・支援の実施
- ⑧ 感染拡大防止のための積極的疫学調査を重点化
- ⑨ 抗原簡易キットの確保

主な対策

【 3 ワクチン追加接種の推進】

- ① 2月を「ワクチン接種推進月間」に位置付け、市町村と協力して高齢者を中心に2回目接種から6か月経過した希望者に対する接種を加速化
- ② 高齢者施設入所者等への接種は、県保有ワクチンの市町村への融通に加え、巡回接種を行うなど、特に速やかに実施
- ③ 2月以降、県設置の接種会場を県下10広域に設置するとともに、一部会場は接種規模を拡大し、高齢者やエッセンシャルワーカーを主な対象として接種を実施
- ④ 医師会、歯科医師会、看護協会、薬剤師会等の協力により、希望する市町村へ「長野県ワクチン接種支援チーム」を派遣するなど、接種加速化に向けた必要な支援を実施

主な対策

【4 社会機能を維持するための対応】

- ① 生活・経済の安定確保に不可欠な事業者等に対して、感染者が発生した場合でも必要な業務が継続できるよう依頼
- ② 保育所や放課後児童クラブ等については、感染防止策の徹底を図りつつ、できるだけ開所するよう依頼
- ③ ①及び②の対象事業に従事する濃厚接触者については、検査により待機期間を短縮することを可能に
- ④ 業務継続に必要な医療従事者・高齢者施設等従業員の宿泊費の補助及び高齢者施設等の従事者を対象とする検査の実施
- ⑤ 福祉施設間での職員等の応援体制の強化

主な対策

【5 経済活動を維持するための対応と事業者・生活者支援】

- ① 「信州の安心なお店」の利用を積極的に推奨
- ② 信州割及びアクティビティ割は、対象を県民限定（信州割は同居家族に限る。）として継続
- ③ 時短要請等に応じた飲食店への協力金の支給
- ④ 酒販店等における地酒クーポン券の発行
- ⑤ 市町村を通じた広範できめ細かな事業者支援のための交付金の支給
- ⑥ 資金繰りなどの経営相談等の実施
- ⑦ 緊急的な食料支援の実施等
- ⑧ 事業復活支援金や雇用調整助成金、子育て世帯への給付など、様々な施策を積極的に広報

主な対策

【6 その他】

- ① 県の公共施設について、感染対策の徹底や休止等の措置を検討するとともに、市町村に対しても同様の検討を行うよう協力を要請
- ② イベントの規模要件を厳格化し、イベント主催者等に対し、基準に基づいて開催するよう要請（法第24条第9項）
- ③ 学校や職場での健康観察アプリの活用推奨
- ④ 県における率先実行
- ⑤ 1週間の新規陽性者数が現在の想定を超えた場合の医療・保健所等の対応の検討
- ⑥ とともに危機を乗り越えるための県民共同宣言の発出。
関係団体との連携強化
- ⑦ 県民に正確な情報や県としての方針を的確に伝えるための情報発信・広報の強化

最近の感染事例

1. マスクを外して会話



休憩時にマスクを外して会話



自分だけマスクを
しているのが気まずく、
外してしまう

最近の感染事例

2. マスクしていても換気が不十分



換気をせずに
会話しながらドライブ



窓が無い、網戸が無いなど、
換気ができない場所にいる

最近の感染事例

3. マスクをしていても距離が近い・声大きい



つい盛り上がって
声が大きくなってしまふ



親しい友人なので
近い距離で会話してしまふ

最近の感染事例

4. 体調は悪いけどこれぐらいは平気



のどが少し痛いけど、
熱もなく、体調も悪くないので、
出勤(登校)してしまう



少し体がだるいが、日程変更が
大変なので予定どおり帰省